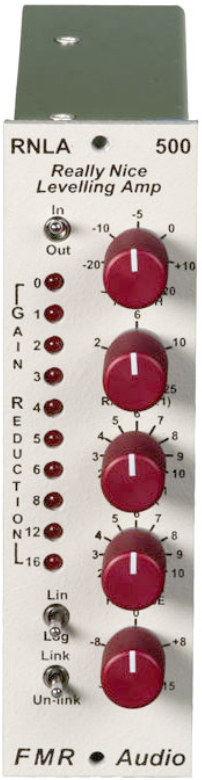
FMR Audio

RNLA500



取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

FMR Audio 「RNLA」はクリーンで色付けのないコンプレッサーに仕上げられた「RNC」に比べて、パンチ感や押し出し感の強い、ビンテージ系機器のサウンドを持っています。その RNLA7239 を API500 シリーズ（VPR Alliance）に適応させ、バランス入出力を備えたシングルチャンネル・モジュール化した製品が RNLA500 です。

- バランス入出力
- リンクスイッチによるステレオ・オペレーション対応
- 最大入出力レベル+28dBu .
- オーバーカレント・プロテクション回路
- 24bit 演算のマイクロ・プロセッサーでアナログ回路を制御するスマートなコンプレッション動作
- Lin(リニア)モードと Log(対数)リリースモード切替
- 電源ラックの消費電力をセーブし安定動作を可能にするドット式ゲインリダクションメーター
- シールドされた C&K サブミニチュアのトグルスイッチ
- レッドアノダイズドのマシンアルミニウムノブ

新たに装備された「Pop Reduction」回路は電源オン・オフ時のポップ音をカットするよう設計されています。

Hook-Up

RNLA500 の入出力は API500 専用ラックからフックアップされます。通常は XLR 接続での入出力となります。

THE CONTROLS

FMR Audio RNLA500 には 5 つのロータリーノブの可変コントローラーが装備されています。

- **THRESHOLD** – コンプレッションされ始めるレベルを設定します
- **RATIO** – コンプレッションのレシオ値を設定します
- **ATTACK** – コンプレッションのアタックタイムを設定します
- **RELEASE** – コンプレッションのリリースタイムを設定します
- **GAIN** – メイクアップゲインを設定します

FMR Audio RNLA500 のスイッチコントロールについては以下のとおりです

- **Engage Switch** – IN 側でコンプレッサーが有効、OUT 側でバイパスされます

- **Mode Switch** – Lin/Log スイッチを Log 側に設定すると、リリースのカーブを直線的なカーブから、曲線的なカーブに変更します。リリースタイムを一般的な「直線的に」早めたりすることではなく、リリースタイムは変えずにリリースカーブをを曲線的にする（最初は急激に戻りはじめて徐々に緩やかにしていく）ことで、サウンドに力強さとパンチ感が加わり、印象的な RNLA サウンドとなります。特に強くリミッティングを行った時には、サウンドに音楽的な躍動感、力強さが加わり最高のロックサウンドとなります。Lin 側では一般的なリリースカーブとなります。

- **Link Switch** – リンクスイッチは 500 シリーズのラックの機能を使った（スロット 1&2、3&4 などのペア）ステレオリンクを実現します。

注:Link 機能を有効にするためには API500 互換ラックがリンク機能に対応している必要があります。またラックフレーム内のバス基板上のリンク端子が結線されている必要があります。詳細はお持ちの API500 互換ラックの説明書をご参照ください。

LINK は 2 台の RNC500 の隣接したサイドチェイン信号のコネクションをフロントのスイッチで切り替えます。ディテクション後の信号を合成し各パラメーターの処理を行います（コンプレッションを決定する前の両チャンネルの信号を合成します）。ステレオコンプレッションの効果を正しく得るためには両方のチャンネルのコントロールは全て同じにしておく必要があります（コントロールはリンクしません）。

Gain Reduction Display

10 個の LED メーターにより正確で精巧なゲインリダクション量をモニターすることができます。本機のゲインリダクション・アマウントはマイクロプロセッサー/DA コンバーターのコンビネーションから送られたコントロールボルテージからコントロールされており静的・動的、両面においての精巧さを保証しています。
メーターLED をドットで動作させる事で、API のフレームの消費電流を減しパフォーマンスの向上を図ります。ディスプレイは dB 値を示します。

BASIC OPERATION

<INITIAL SETTING>

RNLA500 のガイド的な使用方法としては、まずは以下のような設定からスタートすることをお勧めします

・RATIO、ATTACK、RELEASE のノブを 12 時の方向にセット
・IN/OUT スイッチを″ In″ポジションに合わせます
・ゲインリダクションが 4-6dB くらいになるよう THRESHOLD を設定します

上記のベーシック設定を設定したら以下のようにコンプレッションを設定していきます。

1) RATIO の設定

もし″ extreme ″なサウンドが欲しい時には RATIO を高めに、″ milder ″なサウンドにしたい場合には RATIO を低めにすると良いでしょう

2) Attack の設定

より″ スムース ″なサウンドが欲しい時には ATTCAK を速めに設定すると良いでしょう

3) Release の設定

よりカラーのあるコンプレッションを望む場合にはリリースを速めに設定すると良いでしょう

4）Lin/Log スイッチの設定

例えばスネアドラムのような音源に対してパンチ感を強調したい場合はLOGポジションにすると良いでしょう。

5）Output Gain の設定

ゲインリダクション量に合わせてメイクアップゲインを設定します。